

## Q1

あなたの所属する企業、または団体の業種を教えてください。

回答内容	件数	比率
イベント関連	93	40.7%
旅行・ホテル	33	13.7%
その他	31	12.9%
不動産	15	6.2%
IT・通信関連	13	5.4%
官公庁・自治体	12	5.0%
コンサル	11	4.6%
その他製造業	5	2.1%
教育関連	5	2.1%
製薬	4	1.7%
病院・医療関連	4	1.7%
学会	3	1.2%
金融	3	1.2%
法律	2	0.8%
食品	1	0.4%
自動車	1	0.4%
合計	241	

## Q2

今回のイベントで良かったと思われるものはなんですか。ひとつだけ選択してください。

回答内容	件数	比率
会場内覧	71	29.5%
LIVE配信	58	24.1%
感染対策グッズ	56	23.2%
ケータリング	32	13.3%
セミナー	18	7.5%
その他	5	2.1%
参考にならなかった	1	0.4%
合計	241	

## Q3

コロナ禍を経験し、改めてリアルイベントへのお客様自身の想いをお聞かせください。

- ・ 実際今後リアルイベントを開催して良いのか不安。
- ・ リアルイベントの本来の意味を再認識させられた(共感・共有・感動などの心に響く効果)
- ・ リアルイベントと同等又は、それ以上のものを届けることの難しさを体感した。
- ・ 対策が行き届いていれば、漠然とした不安は大幅に解消されると感じた。
- ・ まだ、リアルイベントへの、参加へのハードルの高さは感じる。
- ・ 新しい価値が生まれているが、古き良きことも残したいと思っている。すぐに情報共有できるオンラインの特性と、画面越しでは得られないリアルならではのライブ感を上手く組み合わせたい。
- ・ イベントは開催したいが、リアルも大切にしたい。リアルで行う場合は、感染症対策をしっかりと行いたい、日進月歩で正解が無い分野だと感じている。オンラインも取り入れたいが、費用面や何が本当に自社に必要・足りないことなのかの見極めが難しく、サポート体制のある会場や会社とつながりを持ちたいと考えている。
- ・ 講義などはオンラインでも可能だが、コミュニケーションの機会はリアルの方が取りやすいと思う。偶発的な会話の中の方が新しいアイデアも生まれやすいのでは。
- ・ オンラインでの実施が容易になったとはいえ、リアルでしか体験できないものがあると思う。今回も会場にお伺いしたから実際に手に取り、見ることができた。オンライン、リアルそれぞれの強みを活かし、ハイブリッドなニュースタイルを提案していきたいと考えている。今回は貴重な体験となった。企画、実施していただきましたことに感謝申し上げます。

以上、いただいたご意見のダイジェストです。155回答全てを巻末に掲載しております。

## Q4

コロナ禍(2月下旬～9月現在)でのイベント開催経験(インナーイベントは除く)をお聞かせください。(複数回答可)

回答内容	件数	比率
オンラインイベントを開催した	91	34.6%
イベントは開催していない	70	26.6%
ハイブリッドイベントを開催した	55	20.9%
リアルイベントを開催した	47	17.9%
合計	263	

## Q5

オンラインイベントについて、当てはまるものをひとつお選びください。

回答内容	件数	比率
すでに開催している	78	40.0%
具体的に計画中である	51	26.2%
興味あり/リサーチ中	37	19.0%
ぜひ検討してみたい	11	5.6%
よく分からない(様子を見ている)	11	5.6%
検討していない	7	3.6%
合計	195	

## Q6

ハイブリッドイベントについて、  
当てはまるものを  
ひとつお選びください。

回答内容	件数	比率
すでに開催している	52	26.5%
興味あり/リサーチ中	51	26.0%
具体的に計画中である	45	23.0%
ぜひ検討してみたい	21	10.7%
よく分からない(様子を見ている)	16	8.2%
検討していない	11	5.6%
合計	196	

## Q7

いつ頃からリアルイベントを再開しようとお考えでしょうか？

## Q8

リアルイベント再開の際は、来場規模数はどの程度でお考えでしょうか？

時期	人数						件数
	~50人	~100人	~300人	~500人	~1,000人	回答無し	
3か月以内	7	14	7	3	10	1	42
6か月以内	4	13	11	5	12	5	50
1年以内	3	8	8	3	8	0	30
その他	3	3	2	2	0	3	13
未定	5	12	10	5	9	9	50
合計	22	50	38	18	39	18	185

## Q3

### コロナ禍を経験し、 改めてリアルイベントへのお客様自身の想いをお聞かせください。

- ・ オンラインのみでは、気持ちの距離も含め限界はあると思うのでやはりリアルイベントは開催したい
- ・ 実際今後リアルイベントを開催して良いのか不安。
- ・ 参加者、スタッフ、関係者の安全配慮が大切。
- ・ 開催したい気持ちと状況の変化に対応させるのがなかなか難しい。
- ・ 早く実施したい
- ・ 配慮が可視化できれば、実施は可能
- ・ 開催したい思いはあるが、web配信の利便性も感じている。
- ・ リアルとネットの両方が必要。ネットであればリアルと異なる層にリーチできる
- ・ 全てのイベントがリアルである必要はないが、絶対に、リアル開催が必要なイベントはある。
- ・ リアルイベントと同等又は、それ以上のものを届けることの難しさを体感しました。
- ・ まだ、リアルイベントへの、参加へのハードルの高さは感じます
- ・ 人と人が直接顔を合わせて、会場で時を過ごす体験の代え難さを実感しています。リアルイベントの需要は、より特別な意味をもって回復すると思っています。
- ・ 安心感が必要、個人の意識
- ・ リアルイベントが出来るようになったときに、コロナ禍時の経験が活かせるように学んでいきたいと思います。
- ・ コロナから完全克服するまではリスク管理としてリアルとオンラインの併用になるのかと思うが、リアルイベントの開催は無くすべきでは無いと思った。(観光ビジネスの見地から)
- ・ 早くリアルに戻ってほしい
- ・ 日常が何処まで戻るかは分かりませんが、やはりあるが失われることは無いと思います。
- ・ リアルならではの良さは間違いなくあるので、方向を探りたい。
- ・ 順路設定をすることで人が蜜になりにくくなっていること、受付は無人でいたるところにアルコールがあることはソーシャルディスタンスや感染予防対策がされていることが感じられました。
- ・ リアルイベントが開催できる日が早く訪れることを望むと共に、その時には感染対策への知識、技術も合わせて活用していきたいと思いました。
- ・ ワクチンがないとリアルはやりにくい、と感じました。
- ・ リアルイベントを開催していいという流れになるといいです。
- ・ はやくリアルイベントがもどってほしい
- ・ リアルイベントの本来の意味を再認識させられた(共感・共有・感動などの心に響く効果)  
来年に向けて、リアルイベント(特に展示会)が復活することを願っています。
- ・ 実施になるまで非常に難しい
- ・ どんな状況下でもリアルはやはり、求められる状況にあると思われる。
- ・ 久しぶりのリアルイベントの参加。リアルって大事ですよ。
- ・ 対策を含め費用対効果が悪い。オンラインとハイブリットじゃないと厳しい気がする。
- ・ オンラインでは伝わらないライブ感は必ずニーズが戻ってくると思います。
- ・ やはりリアルが主で、サブとしてオンラインが現場に来れない方へ情報提供するのが1番かなと思います。

- 
- ・ ウェブイベントで少しでもとがながっておりますがバーチャルではリアルイベントにはどうしても勝てない部分あり。
  - ・ リアルで開催する意義をより考えて計画する必要がある。リアルはなくなる。
  - ・ リアルイベントはなくなる年でないが、いままでとは違った形に進化する必要がある。
  - ・ どうしても必要。こういった状況になったことで、その重要さを改めて知った。
  - ・ 早期にフィジカルなイベントが増えることを願う
  - ・ デジタルで参加するイベントが主流になっていますが、展示物などは実際に見たいと感じています。今日もいろいろな担当者の方と直接お話ができて、とてもためになりました。
  - ・ 早くコロナが収束し大規模のリアルイベントが開催できる世界に戻ってほしい
  - ・ 対策が行き届いていれば、漠然とした不安は大幅に解消されると感じた。
  - ・ イベントを開催する際には、オンサイト、オンラインによる参加が必須になる
  - ・ 施設側の責任範囲・施設閉鎖の判断の難しさ
  - ・ リアルのコミュニケーションに勝るものはないと思います。
  - ・ "リアルイベントでしか味わえない臨場感をどうやったらオンラインで伝えるか、という事を皆さん考えているかと思います。
  - ・ 技術の進歩もそうですが、人と人の繋がりも大事だという事を痛感しました。"
  - ・ イベント開催が激減し、仕事が減った。10月頃より本格的にwithコロナとして日常に戻って欲しい  
安全を考慮しつつ、にぎわいを復活させたい
  - ・ 仕事が減っているので厳しいです。
  - ・ "弊社はイベント施設を管理する側の立場にありますが、今回のCOVID-19のダメージは想定外に大きなものでした。
  - ・ ただし、イベントを主催する顧客側もリアルイベントの必要性は見直されてくるものと期待しています。
  - ・ 新型コロナウイルスの完全な終息は残念ながら期待できないものと思われますので、今後はwithコロナ的环境下でどのようなイベントが開催可能か、施設側とイベント主催者側が知恵を出し合い、協力することの重要性が益々高まるものと思います。"
  - ・ 実際に会場を見学し、開催の形を提示してもらえるのはわかりやすかったです。
  - ・ リアル開催への想いは深まる一方です。リアルで感じられることをデジタル活用して少しでも近づけられるツールの利用も行えるようになっていく時代でもあるので自分自身の改革が必要だと思っています。
  - ・ 配信を実現する技術は素晴らしいと思いますが、直接のコミュニケーションに勝る方法はないのでは？  
リアルがより重要な顧客接点と思った。
  - ・ イベントの形を大きく変えていく必要があると感じました。参加者が以前の様に何も気にせず楽しめるイベントが出来るように切に願っています。
  - ・ リアルイベントが安全にできる対策がデフォルトでできていれば良いと思う
  - ・ 早く以前のような日常が戻ってほしい
  - ・ 早くリアルに集まれるようになってほしい
  - ・ セミナーがどこでも見られるようになったのは良い。運営側としてはやはりリアルが廃れないでほしい
  - ・ リアルの一体感、空気感がやはり素晴らしい
  - ・ リアルは会議や講演以外の時間、ランチやブレイク時の雑談からも得るものが多いです。
  - ・ 必ずリアルイベントが戻ってくる、リアルイベントは必要
  - ・ オンラインの良いところをリアルに取り込みたい
  - ・ リアルイベントが普通に実施できることは本当にありがたいことだと、改めて感じています。
  - ・ 新しい価値が生まれているが、古き良きことも残したいと思っている。
  - ・ すぐに情報共有できるオンラインの特性と、画面越しでは得られないリアルならではのライブ感を上手く組み合わせたい。"
  - ・ とにかく難しい。出展側、参加側共に壁がある(参加に対して)
  - ・ 対顧客の反応をその場で判断するには必須なもの
-

- 
- ・人と人がオフラインで会い生まれる価値がより高まったし、オンラインではカバーできないものがある。
  - ・お客様のリアルな様子がみられるリアルイベントはやはり重要である
  - ・オンラインでは得られない体験や偶然の交流がある
  - ・リアルでなくとも良いと思うイベントもあるが、やはりリアルが一番良いと思う
  - ・リアルの空気感、一体感がやはり素晴らしい
  - ・配信に関しては、どんどん進んでは行きますが、やはり、バーチャル感に物足りなさを感じます
  - ・会場に集まるという「参加している感」は大切だと思う。
  - ・オフラインでなければならない理由も無く、オフラインのみのイベントは実施しにくい(決裁が下りにくい)。一方で運営はオフラインでなければならない場合が多く、バックヤード及び運営スタッフの感染防止策の徹底に工夫が必要。オンラインイベントのネットワーキングの仕組みも課題。
  - ・リアルの価値の高さを実感している
  - ・とりあえずオンラインでイベントをこなしていますが、できればリアルイベントに移行したい。
  - ・人には空気とにおいを大切に食せる場は必要だと思う。
  - ・いずれ開催したい思いがありますが、万が一クラスターが起きたときの風評被害が怖くて、クライアントになかなか提案できません。
  - ・ITのリアルなニーズが見えてきた。特にエンタメに関して知見を増やしたい。
  - ・リアルの良さを残し、活かすためのソリューションが多くあらわれることを期待します。
  - ・ノウハウや知識はオンラインでも配信できるが、人間関係までは構築できず。やはりリアルでできないのは辛い。
  - ・今年度の計画を見直すことになり、大変残念な事態と思う。
  - ・まだまだリアルイベントは厳しい
  - ・当面は開催がむづかしい
  - ・リモート会議は時間がかかりすぎるので、やはり「リアル」が必要！
  - ・人と人がコンタクトできることの重要性
  - ・ウィズコロナでのリアルイベントの形が作られていくことが大事。試行錯誤しています
  - ・現在、来年3月にイベント開催をするかどうか検討中
  - ・Face to Face のリアルイベントはやはり必要と改めて感じた。
  - ・リアルでしか体験できない、香り・味・空気感があってこそ人間の五感が刺激されて新しい創造が始まる！
  - ・人が集まる所への警戒心が強く、社内でも10人以上の会議はコロナ対策をするので、結構大変です。
  - ・イベントは開催したいが、リアルも大切にしたい。リアルで行う場合は、感染症対策をしっかり行いたい。日進月歩で正解が無い分野だと感じている。オンラインも取り入れたいが、費用面や何が本当に自社に必要・足りないことなのかの見極めが難しく、サポート体制のある会場や会社とつながりを持ちたいと考えている。
  - ・ハイブリットで考えるしかないと思っています。
  - ・"会場運営側としても、リアル対面した時のお客様同士での熱の伝わり方や、内容の密度など、代えがたいものがあると考えています。
  - ・現に、少ないながら集まっていられる皆様は、やはり面と向かって話をしないと仰られています。我々としては、常に安全安心にご利用いただける環境を整えていく所存です。一方で、WEBを活用したご利用は今後も続いていきますので、そちらも時代の流れに合わせて対応して参ります。是非業界全体で盛り上げていければ幸いです。"
  - ・同じ場に集い話すことが重要だと思います。
  - ・リアルイベントの重要性を改めて感じました。
  - ・必ずしも対面で行う必要のないイベントが多々あったということと、一方で対面でないと成立しない(効果的ではない)イベントは確実にあるということを実感しています。そのすみわけが今後顕著になると考えています。
  - ・"オンライン開催の流れが、今後主になっても、リアルイベントの需要も、なくならないと思う。体験型、リアル、オンラインそれぞれのメリットを、より、考えていけないと思う。"
  - ・リアルイベントでないと提供できない価値とは何か、と問い続けることが大事
-

- 
- ・リアルイベントならではの価値。わざわざ足を運んでもらうためにはどうするか
  - ・早くイベントをリアルでやりたい。パーテーションを置くと安心感があるのでとても良いと思いました。
  - ・いずれにせよリアルは必要
  - ・ハイブリッドとの開催を前提に検討する
  - ・リアルを開催していくべき
  - ・密を気にしない日常でリアルイベントを開催してほしい。
  - ・やはり対面でしか得られないものはあると思います。
  - ・オンラインハイブリッド化を契機にリアルイベントの意義機能価値がより高まれたらと思います。
  - ・対策配慮してなるべく開催していきたい
  - ・これで安心という決定的な対策がないことにジレンマを感じる。
  - ・参加者同士や主催者の方とのコミュニケーションが取れたり、スピーカーの方に直接お話を伺うことができ、人間関係が広がるのはリアルイベントならではの感じている。
  - ・コロナ禍でもリアルイベントは必要だと思うが、人によって感じ方は違うので、オンライン・リアルイベントどちらか選択できるとよいと思う。ただ、セミナー聴講はオンラインイベントでもよいかと思うが、情報交換や人脈作りなど一歩踏み込んだコミュニケーションを必要とする場合は、やはりリアルイベントに勝るものはないかと思うので、しっかりと対策を取ったうえでのリアルイベント開催は必要だと思う。
  - ・感染症対策の徹底の重要性
  - ・オンラインの参加であったため、ピンポイントで効率的な参加をさせていただきました。ありがとうございます。一方で、オンラインのアクセス方法如何が当日直前にしか分からなかったため、初回参加者としてはオンライン聴講が実際にできるか否か不安な部分もございましたので、テストアクセスの設定や、アクセス可能時間帯の前倒し等の対応を検討頂けると幸いです。"
  - ・再開したが難しさもありそう
  - ・ハイブリット開催のイメージが沸いてよかったです。
  - ・参加者・主催者とも不自由をしてまでリアルイベントに参加する意義を思案中である。
  - ・リアルイベント自身の必要性について改めて感じました。
  - ・リアルイベントの重要性について再認識しました。機会があれば再開したいです。
  - ・オンラインのニーズは強まれど、リアルの高い満足度は変わらないので、ハイブリットを視野の開催を目指したいです。色々考えることがあって大変です。
  - ・講演を聞く、という意味ではオンラインでも何ら問題ないとは思いますが、やはりリアルでしか味わえない臨場感・一体感・集中力というものがあると思うので、全てをオンラインにしてしまうのは勿体ないと思います。
  - ・やはり不安な面が非常に大きくはありますが、リアルで集まってイベントを行うことに大きな価値はあると思っているため、ケータリングなど含め徐々に再開できていけばいいのと思うばかりです。
  - ・リアルを行いたい。必要だが最小限にしたい
  - ・コロナ対策をしながらリアルイベントを開催するとどうしても効果が下がってしまうので、「そこまでしてリアルでやらなくていいのでは？」となってしまいます。そのため、コロナ対策ありきでコンテンツを作らないとなかなかリアルは難しいなと思っています。(グループディスカッションなどは避け、1-wayのセミナーにする、懇談会ではなくディスティングにするなど)
  - ・実際に目で見て体験できていたリアルイベントはイベントに参加している感覚が高いと思う。
  - ・講義などはオンラインでも可能だが、コミュニケーションの機会はリアルの方が取りやすいと思います。偶発的な会話の中の方が新しいアイデアも生まれやすいのでは。"
  - ・安全に配慮した上でFace to Faceのコミュニケーションが必要と感じる一方、Hybridの新しい可能性も楽しみと感じている。
  - ・感染対策をしっかりと行い、ハイブリッドの新しい形式でリアルイベントも行ってほしい安全にリアルイベントを実施していきたいと思いました。
  - ・絶対にリアルイベントが必要だと思う
  - ・参加前のチェックと対策を徹底していくしか道はないと感じました。
  - ・バーチャルでもいいものも確かにある、という気づきと、リアルでないと駄目なもの境目が見えた
-

- 
- ・ 万全な感染症防止対策を講じて、安全にリアルイベントを開催したいと改めて思いました。
  - ・ 座席レイアウトが制限されることは現時点では致し方ないことだと思います。代わりにLIVE配信といった新たなセミナー手法が見えてきたことは収穫だと思います。食事に関しては緩和されてもメンタルブロックを外すことは難しいと思います。
  - ・ 可能な範囲で実施したい(コロナ対策がとれるイベント)
  - ・ face to face の価値は変わらないと思います。より一層重要性を増すと思います。
  - ・ リアルイベントでも安心して参加できる取り組みが多くされていることを実感しました。
  - ・ リアル×LIVE配信実施の経験がなかったため、大変参考になり提案していこうと思った
  - ・ 個人的にはそこまで気にしていない点もあるので、周りさえよければすぐにでも再開したい。
  - ・ 収容人数の上限数の決定理由がわからない。
  - ・ オンラインの良さもある一方でリアルの良いところも感じています。
  - ・ 感染対策グッズも実際見てみないと大きさ、使いやすさが実感しにくいと感じとても良かった。
  - ・ 限られた開催内容でもゲストに満足してもらう点に苦戦している。
  - ・ 毎日基準が変わるので、試行錯誤の連続。
  - ・ リアルでないと熱が伝わらない
  - ・ ハイブリッドやオンラインが主流になる怖さを感じる
  - ・ イベントの基本はリアルだと思う。
  - ・ リアルと皆が求めていることがよくわかりました。
  - ・ 大規模イベントが軒並み無くなり、WEB配信会場を手配しても会場規模も小さいし、懇親会もまず大人数で実施しないので悲しい限りです。お客様も全員を集める移動の負担がなくなり、今後も大型会場での会議研修等は無くなっていく実感があります。
  - ・ これからのトレンドと実感
  - ・ 参加の方が不安なく頂ける対策、情報発信が必要
  - ・ リアルでないと伝わらない部分があると感じています。やはりウェブだけ、もしくはハイブリッド型よりもリアルイベントを希望します
  - ・ オンラインでの実施が容易になったとはいえ、リアルでしか体験できないものがあると思います。今回も会場にお伺いしたから実際に手に取り、見ることができたものもありました。オンライン、リアルそれぞれの強みを活かし、ハイブリッドなニュースタイルを提案していきたいと考えています。今回は貴重な体験となりました。企画、実施していただきましたことに感謝申し上げます。
  - ・ イベント参加者にとって、いかに安心、安全な運行をアピールできるか、また「リアルで開催する意味」をどれだけしっかりとアピールできるかが今後のリアルイベント開催のカギになるのではと思いました。
  - ・ すぐに今まで通りのイベントの実施は難しいと思いますが、「コロナ禍でも、なぜリアルでやる必要があるのか」をお客様にアピールできるイベントを企画していきたいです。
  - ・ コンベンションは、ハイブリッド／オンライン化が進むことは避けられないが、ロビー活動や、研究中の未発表内容に関する情報交換など、会場の外で展開されてきたことはリアルイベントでしか成し得ない。また、インセンティブツアーのように、五感・共感・想いを伴うことで成果を上げられるものは、リアルイベントで開催されていくだろう。
  - ・ ITを活用した「オンライン」「ハイブリッド」イベントもメリットはいろいろありますが、「やはりリアルはいい」とステージでも話が出ていました。誰もがそうは思っているかと思いますが、それを抽象的ではない言葉にするには？ 「あのあたりにする」「空気感」なかなか説得の言葉は難しいものです。
-